（様式１－１）

別添２

申請に当たっては、記入上の注意事項（赤字箇所。本説明文を含む）は全て削除すること

**脱炭素都市づくり大賞　応募申請書**

申請年月日：令和７年　月　日

1. 都市開発事業の名称

|  |
| --- |
|  |

1. 申請者（主たる事業主）

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |

1. 共同申請者

|  |  |
| --- | --- |
| 役割等 | 団体名 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加ください。

※該当しない項目には「―」と記入ください。

1. 申請者（事業主）の担当者連絡先（連絡窓口）

|  |  |
| --- | --- |
| 部署名 |  |
| 氏名（漢字・カナ） |  |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス |  |

（様式１－２）

**事業概要**

1. 都市開発事業に関する基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 |  |
| 地域地区等 | ※指定されている用途地域、容積率（割増を受けている場合は割増前後を）、建ぺい率等を記入すること※開発の前後で変更があった場合には分かるように記入すること |
| 主要用途 |  |
| 事業完了時期 | 　　　年　　月　　日※リニューアルの場合はその時期を記入すること※見込みの場合はその旨記入すること |
| 他表彰制度における受賞歴 |  |
| 関連URL | ※申請事業に関するウェブページ等がある場合はそのURLを記入すること |
| 都市開発事業の概要 | ※300字程度で記入すること |
| 活用制度手法 | ※土地区画整理事業、市街地再開発事業等に該当する場合は記入すること |
| 都市開発エリアが分かる図面 | ※全体の開発が広範囲の場合は、応募する区域を示すこと※可能な限り従前の街区割がわかるベース図とすること※別添でも可、記載欄において「別添資料○参照」と記入すること |

1. 土地利用計画

|  |  |
| --- | --- |
| 建築敷地［㎡］ |  |
| 建築敷地以外 | 道路［㎡］ |  |
| 緑　 地［㎡］ |  |
| その他［㎡］ |  |
| 合計［㎡］ |  |

※適宜行を追加ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 整備計画図 | ※上記の土地利用計画の位置関係が分かる図面 |

（様式１－３）

**建築物概要**

1. 都市開発事業エリア内の建築物の概要

|  |
| --- |
| No（　/　） |
| 建築物名称 |  |
| 階数 | 地上　階　、塔屋　階　、地下　階 |
| 高さ［ｍ］ |  |
| 建築面積［㎡］ |  |
| 基準階面積［㎡］ |  |
| 延べ面積［㎡］ |  |
| 構造 |  |
| 付加的な取組※該当するものは■としてください。 | □ZEB認証□再エネ導入□BEMS□BCP対応（以下に取組の概要を記入ください）説明： |

※複数の建築物がある場合は複製して建物ごとに記入ください。複製する場合は各表の右上に通し番号を記入ください。

（様式２－１）

1. 取組内容

＜必須事項＞

①再生可能エネルギー導入による2030年度までの脱炭素実現

・応募に係る事業の区域において、再生可能エネルギーの導入により、電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを達成していること又は2030年度までに達成する計画であることを記載すること。

・別添４「記入項目の補助シート」を記載の上、別添とすることで、①-1及び、①-2、①-3、①-4の記載を省略できる。

①-1 再生可能エネルギー等電力の利用量

・2030年度までに、Ａ=Ｂを満たすことを確認ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象建物 | 用途 | 電力需要量［kWh/年］ | 再エネ等電力利用量［kWh/年］ | 説明欄 |
| オンサイト再エネ | オフサイト再エネ | 小売電気事業者等の再エネメニュー契約 | 証書 | 計 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ― | ― | （A） |  |  |  |  | （B） |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※説明欄には再エネの種類（太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマス等）及びRE100の技術要件に規定されている追加性のある再エネ導入方法である場合はその概要を記入ください。

※コージェネレーションシステムの導入・運用は、エネルギー利用の高効率化を目指すものであれば、運用に伴うCO2排出量は算定しません。

※事業完了から１年が経過している場合は可能な限り実績値を記入ください。そうでない場合は推定値を記入ください。算定方法は必要に応じ、参考資料（算定方法の例）を参照ください。

※「証書」は、地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における調整後排出量の算定・報告に利用可能な国内認証排出削減量・海外認証排出削減量(Ｊ－クレジット、グリーン電力証書、ＪＣＭ、非化石証書等)を基本とします。

①-2 電力需要量の算定方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象建物 | 電力需要量［kWh/年］ | 電力需要量の算定方法 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  | （A） |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※対象建物及び電力需要量の欄は①-1の記載内容と対応させてください。

※算定方法の欄には、計算式も記入ください。

①-3 再生可能エネルギー等電力利用量の算定方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象建物 | 再エネ等電力の供給方法 | 再エネ等電力利用量［kWh/年］ | 再エネ等電力利用量の算定方法 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  | （B） |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※再エネ等電力の供給方法の欄は、オンサイト再エネ、オフサイト再エネ、小売電気事業者等の再エネメニュー契約、証書のうち、該当するものを記入ください。（①-1「再エネ等電力利用量」欄の記載内容と対応）

※算定方法の欄には、計算式も記入ください。

①-4 再生可能エネルギー等電力導入計画の具体性・客観性

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象建物 | 再エネ等電力の供給方法 | 再エネ等電力利用量［kWh/年］ | 再エネ等電力導入計画の具体性・客観性 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  | （B） |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※再エネ等電力の供給方法の欄は、オンサイト再エネ、オフサイト再エネ、小売電気事業者等の再エネメニュー契約、証書のうち、該当するものを記入ください。（①-1「再エネ等電力利用量」欄の記載内容と対応）

※再エネ等電力導入計画の具体性・客観性の欄は、応募事業区域内の電気契約が個別契約である場合は、入居者への積極的な働きかけ等の取組の内容及び再エネ契約に切り替える具体的な計画や合意形成の度合を記入ください。

②周辺エリアへの好影響

・応募に係る事業の建物及び敷地だけでなく、エリアマネジメントなど、当該事業の立地するエリアに好影響を及ぼす取組の内容及びその実現可能性を記載すること。

※エネルギーの融通、コミュニティ形成、高質な都市アセットの形成、地震・水害などの災害へのレジリエンス向上、などを想定しているがこの限りではない。

|  |
| --- |
| No（　/　） |
| 取組概要 |  |
| 周辺エリアへの好影響 | ※周辺エリアへの好影響の内容を定量的又は定性的にわかりやすく記入ください |
| 取組の実施主体・体制 | ※周辺の地域や事業者との連携体制が分かるよう記入ください |

※自由に記入ください。自由様式でも可としますが、上記項目を整理し、自由様式を使用する旨を欄内に記載ください。

※取組が多岐にわたる場合は、複製して記入ください。複製する場合は各表の右上に通し番号を記入ください。

（様式２－２）

以下、加点事項です。

**該当する項目に記入ください。該当しない項目には「―」と記入ください。**

＜加点事項（共通）＞

③高度な省エネ性能

・当該事業の区域における基準一次エネルギー消費量に対する削減量及び削減割合を記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 対象建物： | No（　/　） |
| ＢＥＩ |  |
| 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置基準一次エネルギー消費量　（　　　　　　　　　　　GJ/年）設計一次エネルギー消費量　（　　　　　　　　　　　GJ/年）※標準入力法により計算すること |
| ＢＰＩ |  |
| 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置（ＰＡＬ＊）年間熱負荷係数（　　　　　　　　　MJ/㎡・年）　　　　　　　（基準値　　　　　　MJ/㎡・年）※標準入力法により計算すること |

※複数の建築物がある場合は複製して記入ください。複製する場合は各表の左上に対象建物、右上に通し番号を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 対象建物： | No（　/　） |
| 設備概要 | 電気概要 |
| 空調方式：熱源方式：給湯方式：冷房熱源容量：（　　　）kW （又は　　RT）暖房熱源容量：（　　　）kW（又は　　MJ/h）蓄熱槽：（　　　　　　　）㎥給湯熱源（電気・ガス・油）容量：（　　　　）kW （又は　　　MJ/h） | 設備容量：照明コンセント（　　　　）VA/㎡　一般動力（　　　　）VA/㎡　空調動力（　　　　）VA/㎡　合計（　　　　）VA/㎡ |

※複数の建築物がある場合は複製して記入ください。複製する場合は各表の左上に対象建物、右上に通し番号を記入ください。

④脱炭素技術の新規性

・従来の取組にはない技術の導入やアプローチ等革新的な取組（次世代型太陽電池、再エネ由来水素活用、高度なEMS、高効率照明・空調、高断熱窓等）を記載すること。

・当該取組の困難さとそれを乗り越える工夫について定量的又は定性的にわかりやすく記載すること。

|  |
| --- |
|  |

※自由に記入ください。自由様式でも可としますが、上記項目を整理し、自由様式を使用する旨を欄内に記載ください。

※熱のカーボンニュートラルの取組をしている場合は、当該項目に記入ください。

⑤ライフサイクルCO2削減の推進

・建物の資材製造段階、施工段階、使用段階（審査の加点事項③で評価される取組を除く）、解体段階を通じたライフサイクルCO２排出削減の取組及び効果を具体的に記載すること。

・効果は、可能な限りライフサイクルCO2の排出量や削減量を記入すること。また、その計算方法や開示の有無を記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組概要 |
| ライフサイクルCO2評価の概要 |  |
| 各フェ｜ズ | 資材製造段階の取組 |  |
| 施工段階の取組 |  |
| 使用段階の取組※審査の加点事項③で評価される取組を除く |  |
| 解体段階の取組 |  |

※自由に記入ください。自由様式でも可としますが、上記項目を整理し、自由様式を使用する旨を欄内に記載ください。

（様式２－３）

以下、国土交通大臣賞の加点事項です。

**該当する項目に記入ください。該当しない項目には「―」と記入ください。**

＜加点事項（国土交通大臣賞）＞

⑥良質な都市の緑地の創出・維持

・気候変動への対応、生物多様性の確保、ウェルビーイングの向上につながる都市空間における緑地の量・質の確保の取組及び緑の基本計画などの自治体の計画との整合性や、隣接地の緑とのつながりなど、周囲との連携を記載すること。

⑥-1 優良緑地確保計画認定（TSUNAG認定）の取得

|  |
| --- |
| □優良緑地確保計画認定（TSUNAG認定）取得済み　　　　　　　□認定未取得 |

※該当するものは■としてください。

※優良緑地確保計画認定（TSUNAG認定）を取得している場合は、⑥-2及び⑥-3の記載を省略できるものとします。なお、TSUNAG認定の評価項目外の取組で特にアピールしたい点等があれば任意で記載いただいても構いません。

⑥-2 緑地の量の確保の取組

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 緑地面積 | 地上部[㎡] |  |
| 屋上部[㎡] |  |
| 壁面部[㎡] |  |
| 緑地整備計画図 | ※別添でも可、記載欄において「別添資料○参照」と記入すること |

※緑地面積には自治体管理の既存公園緑地の開発に伴う再配置、及び自治体整備の公園緑地の緑地面積分は除外するものとします。

⑥-3 緑地の質の確保の取組

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組とその効果 |
| ①気候変動への対応、②生物多様性の確保、③ウェルビーイングの向上の観点 |  |
| 緑の基本計画など自治体計画との整合性や、隣接地の緑とのつながりなど、周囲との連携 |  |
| その他（　　　　　） |  |

※適宜行を追加ください。

※自由様式でも可としますが、上記項目を整理し、自由様式を使用する旨を欄内に記載ください。

⑦エネルギー（熱・電気）利用の効率化の面的利用の推進

・複数の建物・地域全体を熱導管、自営線等のネットワークによる連携や、熱の温度帯に応じて段階的に活用するカスケード利用など、エネルギー（熱・電気）を融通し、効率的・面的なエネルギー供給・利用を行っている場合は、その取組概要や効果及び、事業地内外の関係者との連携・協力体制を記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| エネルギーネットワーク概要図 | ※エネルギー（熱・電気）の面的利用の概要がわかる図面。※事業地内・外の区分を示すこと※別添でも可、記載欄において「別添資料○参照」と記入すること |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組や効果 |
| 熱導管・自営線等のネットワークと供給設備の概要 |  |
| 事業地内外の関係者との連携・協力体制の構築 |  |
| エネルギーの面的利用による具体的な脱炭素効果（可能な限り定量的に） |  |
| その他（　　　　　） |  |

※適宜行を追加ください。

※自由様式でも可としますが、上記項目を整理し、自由様式を使用する旨を欄内に記載ください。

⑧移動の低炭素化（徒歩・自転車・公共交通機関）

・当該事業がコンパクト・プラス・ネットワークを意識した立地であり、車中心から人中心のまちづくり（ウォーカブル等）の動きと連動していること。また、公共交通や自転車等の利用を推進していること。脱炭素を考慮したアクセス（鉄道駅等から距離が離れている場合は、区域内へのモビリティサービス等）が確保されていること。

※直接的なモビリティサービス以外にも、歩行者導線が優位となるデザイン、駐車場マネジメント、駐輪場の台数確保、自転車通勤者のためのシャワー設備など、徒歩や自転車や公共交通利用者の利便性向上にかかる取組等も評価対象となります。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組や効果 |
| 当該事業の立地※該当するものは■としてください。 | □緊急整備区域内に立地している□都市機能誘導区域内に立地している□その他自治体等の定める拠点区域内（以下に概要を記入ください）説明： |
| 車中心から人中心へのまちづくりの観点 |  |
| 公共交通機関、自転車利用の観点 |  |

※自由に記入ください。自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

（様式２－４）

以下、環境大臣賞の加点事項です。

**該当する項目に記入ください。該当しない項目には「―」と記入ください。**

＜加点事項（環境大臣賞）＞

⑨事業区域内外での再生可能エネルギー発電の推進

・自家消費型の再エネ設備の効果的な導入（自己所有、自己託送）や、他者の再エネ設備の導入支援を行い区域内で消費すること、再エネの追加性に寄与しうる遠隔地から当該事業地への再エネ電力の融通（オフサイトPPA（フィジカル））等実質ではない再エネの導入により、事業における再エネの導入を推進していること。

⑨-1 区域内で消費するために導入した再生可能エネルギーの設備容量

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | オンサイト | オフサイト |
| 設備容量［kW］ |  |  |
| 年間消費量［kWh/年］ |  |  |

※オンサイト欄：区域内（屋上等）に設置する再エネ

※オフサイト欄：自己託送方式による再エネ、または、オフサイトPPA（フィジカル）等実質ではない再エネ

⑨-2 その他、特記事項

|  |
| --- |
| ※蓄電池の活用など、特記すべき事項があれば記載ください。 |

※自由に記入ください。その他自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

⑩熱中症・まちなかの暑さ対策の推進

・ミストシャワーの設置、日陰・緑地の創出等、空冷室外機から発生する顕熱抑制技術を備えた空調機器の設置、熱中症・まちなかの暑さ対策に資する取組を記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組概要 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※自由に記入ください。その他自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

⑪資源循環の推進

・地形、風土、森林、農地廃棄物などの地域資源、条件の有効活用の取組や、材料の省資源化、リサイクルボックスの設置等の資源循環の取組を記載すること。

・取組に関して、具体的な目標設定や進捗の把握を行っている場合や外部からの評価・認証がある場合はあわせて具体的に記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組名称 | 取組概要 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※自由に記入ください。その他自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

⑫ネイチャーポジティブの推進

・生き物が住みやすい水辺地等のビオトープづくり等のネイチャーポジティブの推進に資する取組を記載すること。

・取組に関して、具体的な目標設定や進捗の把握を行っている場合や外部からの評価・認証がある場合はあわせて具体的に記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組名称 | 取組概要 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加・削除ください。

※自由に記入ください。その他自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

⑬見える化・参加型（デコ活を含む）

・施設利用者や地域の人に対する「見える化、参加型」につながるよう、区域内への充電スポット、宅配ボックスの設置、電力利用状況の通知機能の実装、ゼロ目標の看板設置等のデコ活の推進に資する取組を記載すること。

・その他、環境に資する取組を記載すること（審査の加点事項③及び⑨、⑩、⑪、⑫で評価される取組を除く）。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組名称 | 取組概要 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加ください。

※自由に記入ください。自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

（様式２－５）

1. 申請に関わる写真や図等

|  |
| --- |
| 外観写真※簡単な説明文を付記すること |
| 任意※簡単な説明文を付記すること |

※適宜行を追加、表の大きさを調整ください。

※アピールしたい写真や図等を挿入願います。図等は文字が判読可能な大きさや解像度としてください。

（様式３―２）

1. その他（特記事項など）

|  |
| --- |
|  |

※自由に記入ください。自由様式でも可としますが、その旨欄内に記載ください。

以上